



10月30日(日)

## 支援コンサート曲と合発曲をレッスン

□10月30日(日)は吉田さんの体操、檀先生のヴォイストレーニングに始まり、本並先生の指揮、静さんのピアノで、東北支援コンサート曲の「私の好きなこの街」、合唱発表会曲の「シルクロード」と「歎きのナーダム」をレッスン、続いて檀先生の指揮で交流の部発表曲で同じく支援コンサート曲の「絵手紙」と「風の花の色」、支援コンサート曲の「アムール河の波」、「フィンランディア」、再び、本並先生の指揮で支援コンサート曲の「百万本のバラ」をレッスンしました。参加は全28名でした。

復興支援ボランティア

## 「私の好きなこの街コンサート」

陸前高田市&大船渡市 実現決定!

11月21日(月) — 11月22日(火)

□既報のように、かねてから檀美知生・村嶋由紀子夫妻に、2度に渡る現地訪問や「心の絆」支援活動で陸前高田市教育委員会などと交渉を進めて頂いていましたが、このたび、大きく前進して「陸前高田市第一中学校」の講堂/ピアノを提供していただいたの「私の好きなこの街コンサート」(復興支援ボランティア・入場無料)の実現の運びとなりました。第一中学校のグラウンドは現在仮設住宅団地(150戸)になっています(写真)。

陸前高田市・旧中心部 航空写真



平成23年5月25日撮影



□10月30日(日)の運営・企画委員会とレッスン後の臨時総会で「企画案」(配布済み)の大枠が賛同・決定され、いよいよ、具体的な細部を詰める作業に入りました。

□**ピアノは、山下先生**が、うたごえ祭典IN千葉（ここでは5団体のピアニストをされ、大忙しです。）に引き続き、本プロジェクトに参加していただけることになり、これも、大きな前進になりました。山下先生は毎木曜日「ブルーム音楽館」で「うたう会」を開催されており、多彩な曲のピアノを自在にされます。コンサート曲はもちろん、プログラムの中の「うたう会」でも力強い味方になっていただけます。

□仙台から千葉祭典へは、「**ふきのとう合唱団**」（仙台）ほかで2台の貸し切りバスを仕立てて来ておられますが、帰りのバスに、我々昂ほかコンサート参加の大阪メンバーが同乗させてもらえることになり、交流しながら、非常に経済的に移動できることになりました、感謝。（仙台泊）。

□また、「**ふきのとう合唱団**」の高橋さんから、現地での音響設備の提供、担当の申し出があり、合わせて、感謝しています。

□「**ふきのとう合唱団**」は、**高平つぐゆき**さんが、指揮、指導をされていましたが、闘病中のところ、つい先日、惜しまれながらご逝去されました。コンサートで冒頭に歌う「私の好きなこの街」は、コンサート自身の題名にもさせてもらいましたが、期せずして高平つぐゆきさんの作曲になる名曲です。ここから哀悼の意を表します。

□友団の「合唱団TERRA」は、村嶋由紀子作詞、高平つぐゆき作曲で、昂も歌っている「無言館」を初め、心打つ多数の佳曲を創作し歌ってきましたが、かつて、「**ふきのとう合唱団のコンサート**」に「無言館」のソリストとして、檀先生が招待出演された縁もあり、その後の交流も続いて、このたびのご協力に結びついたものです。感謝と共に「絆」の大切さ、うたごえ仲間の友情を実感しています。

□コンサート後の打ち上げは、**カフェ「う・ふ・ふ」**で、狭いのでぎゅうぎゅう詰めでおこないますが、これは、檀先生と村嶋由紀子さんが陸前高田市へ視察・調査や「心の絆」支援で訪問した際に、荒れ果てた被災地にポツンと開いているこの復興カフェに立ち寄り、ママさんの復興にかける意気ごみに感じて、コンサートの打ち上げはぜひここでと約束してきたものです。電話で、当日の「うたう会」での選曲などにアドバイスをもらったりしています。「待ってますよー！」とのこと。

□コンサート後の宿は、現地ボランティアの常宿にもなっている「**ホテル三陽**」で、利便の近さにあり、後でわかったことですが、「う・ふ・ふ」のママさんと「ホテル三陽」のご亭主とは学校の同級生とのこと。これも「絆」の広がり。

□現地へは仙台から貸切バスで入りますが、陸前高田市の被災地や、7万本あった松林の中でただ一つ生き残った不屈の「一本松」（いま、陸前高田市の復興の象徴になっている）などを視察、被災されなくなった、あるいは、行方不明の方々に鎮魂の黙祷をささげた後、グループにわかれて、仮設住宅などに一軒一軒、コンサートのビラを持って宣伝にまわります。支援コンサートですので、もちろん、**無料ご招待**です。会場設営にも時間と手間がかかります。大勢の方に来場してもらって、元気を得て喜んでもらえるコンサートになるようがんばりましょう！

□翌日は大船渡市の老人ホーム（地区委員会の仲介）に場所を移して、交流・コンサートを行います。詳細は今から詰めるところです。

□大船渡市の後、同じ貸切バスで一関経由（一部解散）で仙台へ向かい、夕刻、仙台で解散となります。

□「私の好きなこの街」コンサート復興支援プロジェクトの現地参加者は、「男声合唱団昂」をはじめ、「絵手紙合唱団」をふくめて現在約30名です。「ふきのとう合唱団」でも、団員の皆さんに呼びかけてみるということです。

□会場で小品の「**記念品**」を配りたいのですが、**無償提供を募集中**です。子供向け、大人向けを問いません。どう配るかは、提供品と数を見て臨機応変に考えます。

□**経費や義援金のカンパ**を募ります。なんどもカンパされているでしょうが、また一段のご協力を！



陸前高田市 被災翌日